

レジメン番号	0161	レジメン名	R-CHOP(1日間)
登録診療科	血液内科	使用薬剤	リツキサン/リツキシマブ BS、 エンドキサン、ドキシソルビシン、 オンコビン、プレドニゾロン
がん腫	悪性リンパ腫	インターバル日数	21日または14日

【投与量・投与スケジュール】

薬品名 投与量/体表面積	投与方法	患者 投与量	Day1 ( / )	…Day21(または Day14)	Day1 ( / )
リツキサン/リツキシマブ BS 375 mg/m <sup>2</sup>	点滴	mg	↓	3週間または2週間で1コース	↓
エンドキサン(CPA) 750mg/m <sup>2</sup>	点滴	mg	↓		↓
ドキシソルビシン(DXR) 50mg/m <sup>2</sup>	点滴	mg	↓		↓
オンコビン(VCR) 1.4mg/m <sup>2</sup> (最大2mg/body)	静注	mg	↓		↓
プレドニゾロン(PSL) 100mg/body または 40mg/m <sup>2</sup>	経口	mg	Day1~5		↓

(支持療法)

※1 経口剤あり

A) アロキシ(0.75) B) グラニセトロン(1)	静注	○ mg	↑	3週間または2週間で1コース	↑
--------------------------------	----	------	---	----------------	---

【当日の投与方法】

薬品名	規格	希釈液/量	投与速度/方法
①リツキサン/リツキシマブ BS	100mg 500mg	生食で10倍に希釈	※2 下記参照/輸注ポンプ
②エンドキサン	100mg 500mg	生食 250mL	60分/点滴
③ドキシソルビシン	10mg	生食 100mL	15分/点滴
④オンコビン	1mg	生食 50mL	5分/点滴
⑤ アロキシ または グラニセトロン	0.75mg 1mg	生食 20mL	静注
⑥プレドニゾロン経口	5mg		経口

投与間隔≫ (メインルート/  
持続)※3

(側管)

(側管/静注)

(側管/5分)

(側管/15分)

(側管/60分)

投与順番≫

⑦

→ ①

→ ⑤

→ ④

→ ③

→ ②

→

→

→

→

→

→

→

→

終了

【備考】

※1 リツキサン/リツキシマブ BS 投与前、解熱鎮痛剤及び抗ヒスタミン剤の予防投与を行う

※2 初回投与時は、最初の30分は50mg/時の速度で点滴静注を開始し、患者の状態を十分観察しながら、

その後注入速度を30分毎に50mg/時ずつ上げて、最大400mg/時まで速度を上げることができる。

また、2回目以降の注入開始速度は、初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/時まで上げて

開始し、その後30分毎に100mg/時ずつ上げて、最大400mg/時まで上げることができる。

※3 ⑦メインルート：5%ブドウ糖 250mL